

2019年産情報

- 北海道** 全道的には高温。少雨で夏を越えました。生育は短茎・多茎傾向でほぼ平年並みです。登熟も順調に進んでいます。
- 新潟** コシヒカリの品質は高温障害の影響が心配されています。一部では平成22年産並みとされているようです。現状の検査実績は魚沼と一般地区(下越)の影響が大きく、比較的良さそうな佐渡でも30%程度の1等比率のようです。因みに平成22年産コシヒカリの1等比率は、サンシヨクの仕入れベースで魚沼70%、佐渡40%、岩船25%、一般27%でした。食味の評価が良いのであれば、量の確保を視野に入れた判断が必要になると思います。
- 宮城** 刈り取り盛期を迎え、順調に作業が進んでいます。作業は10日過ぎにほぼ完了する予定です。
- 佐賀** 台風15号の被害が発表されました。水稻の被害は2000haに及び、特に平坦地が大きかったとのことです。今後収量への影響が懸念されます。

大嘗祭で使う米を収穫する「齋田」決定

天皇の代替わりに伴う11月の皇室行事「大嘗祭(だいじょうさい)」で神々に供える米を作る「齋田(さいでん)」は、5月に宮内庁で行われた亀の甲羅を焼く「亀ト(きぼく)」という占いによって決まりました。二つの地方をそれぞれ「悠紀(ゆき)」の地方(国)、「主基(すき)」の地方(国)と呼ぶのが古くからのならわしで、悠紀地方には栃木県が、主基地方には京都府が選ばれ、この度宮内庁は18日、11月の大嘗祭(だいじょうさい)で使う米を収穫する「齋田(さいでん)」について、栃木県高根沢町の農業石塚毅男さん(55)の田んぼから「とちぎの星」、京都府南丹市の氷所生産組合代表中川久夫さん(75)の田んぼから「キヌヒカリ」に決まったと発表しました。栃木県からは「とちぎの星」、精米180キロ、玄米7・5キロ分納品されるそうです。

今週の玄米入荷情報

＝30年産＝

福井 コシヒカリ テラル越前
佐賀 夢しずく 特別栽培
佐賀 さがびより
岩手 ひとめぼれ 前沢限定
北海道 ゆめぴりか
新潟 新之助
秋田 あきたこまち やまもと
宮城 つや姫 登米特裁

＝元年産＝

千葉 ふさおとめ
千葉 コシヒカリ HG
佐賀 コシヒカリ 白石特裁
富山 コシヒカリ
栃木 コシヒカリ

新品種の取り扱いについて

近年登場した各産地の新品種につきまして、取り扱いのお問合せを頂いております。
昨年実績のある産地・品種につきましては元年産も取り扱いを致します。
さらに昨年取り扱いの叶わなかった品種につきましても購入の交渉を行っております。
時期・数量・価格を含めましてまだまだ不透明な部分がございますが、タイミングを見でお知らせをいたします。

10月1日より消費税率が変わります。
伝票に2種類の税率ごとの表記が必要になります。
一枚に両方の表記ができない場合、税率ごとに伝票を分けることで対応します。
領収書も同様です。

